

テラコッタドール普及啓発パンフレットを作成

テラコッタドールは素焼きの鉢を組み合わせて作る人形で、作り方などを記載したテラコッタドール普及啓発パンフレットを作成しました。

河内長野市ではテラコッタドールを「みんなで一緒に作るまち」、協働のシンボルと位置づけ普及啓発に努めております。

本市は、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県大槌町に対し、人的支援をはじめ、義援金や支援物資を届けるなど、様々な形で支援しているところです。平成24年4～5月には、「大槌町復興応援プロジェクト」を実施しました。

このプロジェクトでは、市民や事業者から素焼きの鉢の提供を受けて、市政アドバイザーで庭園デザイナーの石原和幸氏をはじめ、のべ200名のボランティアが復興の願いを込めてテラコッタドールを製作し、これを大槌町へと送り届けました。

市では、この復興支援を機にテラコッタドールを協働のシンボルと位置づけ、復興支援の取り組みを通じて再認識された市民の「マンパワー」や「強い絆」をさらに広げ、「みんなで一緒に作るまち」につなげていくことを目指しています。

現在、府立花の文化園やボランティアの協力を得て、テラコッタドールの共同制作や市内施設への設置を行っています。市内各所にパンフレットを配置することにより、テラコッタドールの普及啓発につながることを期待しています。

テラコッタドールの普及啓発を通じ、仲間づくりや地域の「絆」を深めること、また、協働施策のシンボル化によって、より多くの市民が協働を身近に感じられることにつなげ、「みんなで一緒に作るまち」の実現を目指します。

